

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月23日 (2013.5.23)

【公開番号】特開2011-217932(P2011-217932A)

【公開日】平成23年11月4日 (2011.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2011-044

【出願番号】特願2010-90001(P2010-90001)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月8日 (2013.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種の絵柄を循環表示させる循環表示手段と、
前記絵柄の循環表示を開始させるべく操作される開始操作手段と、
役の抽選を行う抽選手段と、
前記絵柄の循環表示を停止させるべく操作される停止操作手段と、
前記役の抽選に当選した当選役と対応する当選絵柄が有効位置に所定の組合せを形成して停止したことに基づいて、入賞成立として遊技者に特典を付与する特典付与手段とを備えた遊技機において、

第 1 所定期間に移行させる第 1 移行手段と、

前記第 1 所定期間から第 1 特定期間と前記第 1 特定期間より遊技者に有利な第 2 特定期間のいずれに移行させるかを決定する第 1 移行先決定手段と、

前記第 1 所定期間から第 2 所定期間に移行させる第 2 移行手段と、

前記第 2 所定期間から前記第 1 特定期間と前記第 2 特定期間のいずれに移行させるかを決定する第 2 移行先決定手段と、

前記第 2 所定期間から前記第 1 所定期間に復帰させる復帰手段とを備え、

前記第 1 移行先決定手段が前記第 2 特定期間に移行させると決定する場合と、前記第 2 移行先決定手段が前記第 2 特定期間に移行させると決定する場合と、が異なる構成としたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 移行先決定手段を、第 1 条件が成立した場合に前記第 1 特定期間に移行させると決定するとともに、第 2 条件が成立した場合に前記第 2 特定期間に移行させると決定する構成とし、前記第 2 移行先決定手段を、前記第 2 条件が成立した場合に前記第 1 特定期間に移行させると決定するとともに、前記第 1 条件が成立した場合に前記第 2 特定期間に移行させると決定する構成としたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 条件が成立したか否かを判定する第 1 条件判定手段と、前記第 2 条件が成立したか否かを判定する第 2 条件判定手段とを備え、前記第 1 条件判定手段は、第 1 絵柄の組

合せが前記有効位置に停止した場合に前記第 1 条件が成立したと判定し、前記第 2 条件判定手段は、第 2 絵柄の合せが前記有効位置に停止した場合に前記第 2 条件が成立したと判定することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。